

たぐとみ

No.42

2009.3

■事務局

研修保育園

〒491-0003 一宮市春明字西柳原47

TEL(0586)77-1911

■発行者

愛知県幼児視聴覚教育研究会

会長 安藤 哲

★保育園での視聴覚教材に関する調査結果

★第46回東海北陸地方放送教育研究大会報告

★第40回愛知県放送教育特別研究会報告

★第40回愛知県幼児視聴覚教育研究大会報告

★NHKすくすく子育てスクール

★第13回視聴覚教育総合全国大会 合同大会(愛知大会)案内
第60回放送教育研究会全国大会



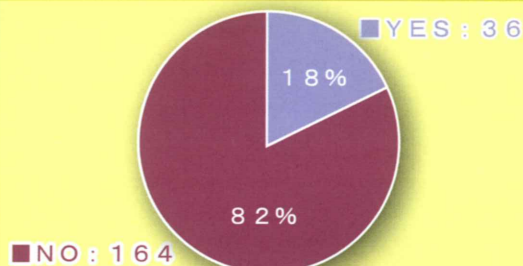
名古屋市立大高幼稚園 5歳児

保育園での視聴覚教材に関する調査結果

対象・・・名古屋市内保育園（200/282園）

昨今、テレビ・ビデオ、ゲームなどがまんえんし、子どもたちの「聴く力」が衰えてきているように感じます。そこで、市内の保育園において”視聴覚教材”をどの様にとらえ、利用されているのか、その実態を把握し、園で”視聴覚教材”に関心を持っていただくよう調査を致しました。

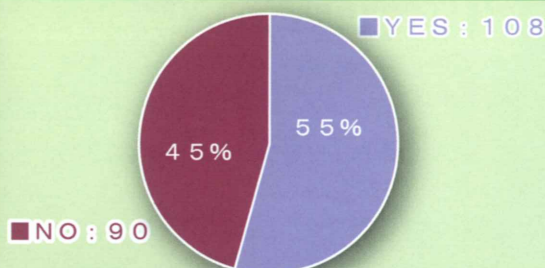
保育にTVやラジオなどの
視聴覚教材を取り入れている園



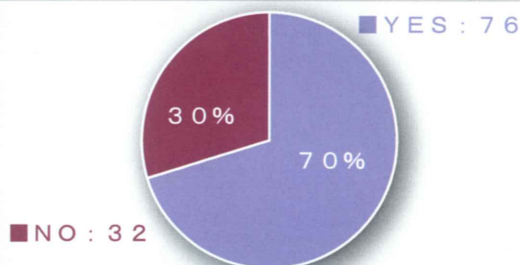
○ 主にテレビ・ビデオ等を利用している園が多い。「しぜんとあそぼ」では、あまり触れる機会の少ない自然の中や、防災ビデオ等で災害の恐ろしさ等を疑似体験したり、「つくってあそぼ」「にほんごであそぼ」などでは補助教材として活用されたりしているようです。

○ ラジオ離れが進んできているのか、番組名は知っていても聞いたことのない方も多く、視聴できる環境が不十分のように感じました。

ラジオ番組「お話でてこい」の認知度



認知度でYESと答えた人で
ラジオ番組「お話でてこい」の視聴経験



Q & A

「お話でてこい」の番組制作者に質問をしました。

Q. どのような点にポイントをおいて制作していますか？

A. いろんな点に配慮をしていることはもちろんですが、一番大事なのは「楽しんでもらう」ことだと思っています。映像を伴わないメディアでもあり、集中して聞いてもらうためには、「おもしろい」と思ってもらう必要があります。そのためにいろいろな点を工夫しています。

Q. 題材（お話）を選ぶ基準は何ですか？

A. 前の質問とも関連しますが、子どもにとってわかりやすいことが重要だと思っています。もちろん、制作者の思いを伝えたいということもありますが、それも伝わって初めて意味を持ちますので、まずはわかってもらえるかどうかを主眼におきます。年間の放送内容については、古今東西のバランスを考えて配慮するようにしています。

Q. 構成で工夫していることは何ですか？

A. 基本的には（年中児向けの名古屋局制作分を除き）昔話にせよ、現代作家の作品にせよ「原作」がありますので、その原作の流れをそのまま構成に移します。ですので、構成そのものはあまり工夫の余地はありません。

○視聴覚教材について

- テレビ・ビデオ等も、ただ見せるのではなく、保育者がかわり、共感し、会話することで”視聴覚教材”としての意味をもつように思います。
- お話は、素話も素晴らしいですが、ラジオ番組には、素人には出せない迫力、臨場感があると思います。聴覚からしか「情報」が入ってきません。同じお話を聞いても、一人ひとり頭の中に浮かんでくる映像はそれぞれです。想像力を掻き立て、とても素敵なことと思います。
- ”視聴覚教材”とのかかわり方を考えて、有効に利用していけば、保育の幅が広がるのではないかと思います。
- 最近では、CDも販売されているので、一度視聴してみたいかでしょうか？

愛知県幼児視聴覚教育研究会では、ラジオ番組「お話でてこい」を教材とした実践の研究も引き続き行っています。

第46回東海北陸地方放送教育研究大会報告

第40回愛知県放送教育特別研究会報告

未来を拓く学びの場を創造しよう

研究部会「感じる心を育てる」

平成20年8月22日(金)

会場 ウィルあいち

■提案1



「みんなで育てよう輝く子らを」

福井県 坂井市立春江東幼稚園 伊藤 きみ子

家庭、地域、園との連携を大切にし、子どもの見ようとする目、聴こうとする耳、そして心を育てるために視聴覚メディアの利用法を考えた。園生活で子どもが心ゆれて「写真とりたい」と言ってきた時、カメラを渡している。そして子どもの撮った写真や、子どもの遊ぶ様子などをスライドショーにして大きく映し、皆で見て楽しむことで、驚きや感動を言葉に表し、友達と共有している。又、家庭や地域と映像等を通して連携することで様々な交流がはかれ、人とのかわり合いが深まった。

■提案2



「素直に感じたことを自由に表現して楽しむ保育」

愛知県 名古屋市 中村保育園 天野 佐知子

保育園という集団の場で視聴覚教材を活用するにあたり、子どもならではのイメージのふくらみや、友達と共有し合う楽しさが味わえるための環境設定のあり方を考えた。様々な番組の中から、つくってあそび「がみがみさん」を選択し視聴した。視聴後の活動の様子から再度視聴を行なったことで、子どもたちが、作ったものに命を感じ大切にしたり、友達同士のコミュニケーションにつながり遊びが発達していった様子も感じられた。

■助言



福井県仁愛女子短期大学 平岡 芳美

名古屋市立吹上幼稚園 高桑 ちづ子

- 保育の中で活用法や援助法を工夫していた。
- 子どもの思いを大切にし、保育に柔軟性を持たせ、丁寧にすすめていた。
- 保育者が楽しむことで、子どもも楽しむ。保育者の感性が保育をを左右することを忘れないようにしてほしい。
- 個人情報のはかりの前に、どういふ社会を作り、どういふ教育をすべきかをきちんと考えることを大切にしたい。

第40回愛知県幼児視聴覚教育研究大会報告

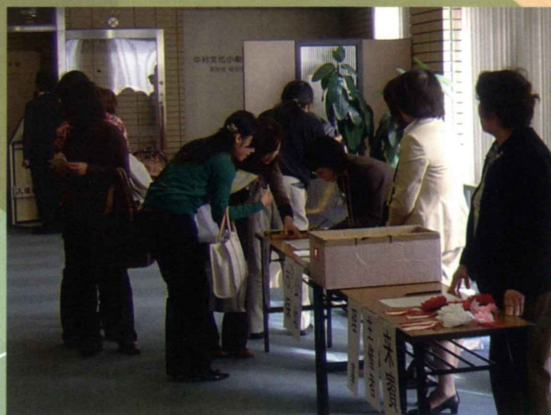
子どもたちの心豊かで落ちつける生活を求めて

TVとのよりよい環境を保護者とともに

平成20年10月29日(水)

会場 名古屋市中村文化小劇場

10月29日(水)、名古屋市中村文化小劇場において一般の親子、保育士、幼稚園教諭の約200名が参加し、第40回愛知県幼児視聴覚教育研究大会が開催された。午前、午後の2部に分けて行なわれ、午後の部は、「子どもたちの心豊かで落ちつける生活を求めて」を研究テーマに中島美奈子(明照保育園主任保育士)が、テレビとのよりよい環境をつくるために、保護者とともに何をしたらよいかを研究報告した。その後、鈴木みゆき(和洋女子大学教授)氏の「保護者といっしょに考えよう。子育て生活メディアとリズム」の講演が行なわれた。

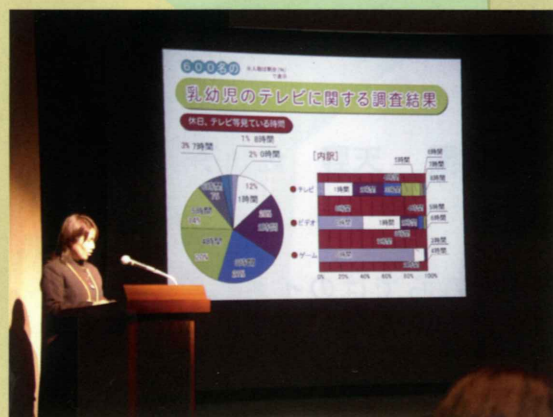


■研究報告

感性豊かに、人とかかわる力を育む保育として、園では、集団でテレビ視聴をしている。さらに今回、テレビについて、保護者とともに考えてみたいと思い、この取り組みが始められた。

まず、子どもの視聴状況を把握するとともに、保護者のテレビに対する思いを調査した。又、実際に園で保護者と子どもが視聴をする機会を設け、子育てにおけるテレビとのつきあい方を保護者とともに考えた。

平成18年度に愛知県内の保育園で、600名の乳幼児の家庭でのテレビに関するアンケート調査を行なった。その結果、視聴する時間帯が食事時間と重なっていることが母親の悩みにもなっている。一方でこの時間帯に良質の番組があり、家族の団らんにつながっていることが分かった。また、テレビでは、実際になかなか見られないのを目にしたり、知識を得ることができる良さを感じつつも、テレビとどうつきあっていけばよいか悩む親の姿があった。それぞれの家庭生活スタイルの中で、子どもの成長にとってどうあるべきかを考える場が必要であると思われた。ゲーム利用に関しては、乳幼児期はまだ低いものの、親、兄弟の影響を受けつつある姿が感じられた。



一宮市研修保育園での年長児22名と保護者によるNHK総合の「ダーウィンが来た!」と、NHKBSの「ダーウィンの動物大図鑑『はろー! あにまる』」の親子視聴の実践は、保護者が、子どもといっしょに見ることに新鮮さを感じ、子どもが一人で見ていたときよりも嬉しそうなことに驚き、テレビを見ながら、いろいろな話しをしている様子を見て、あらためて親子視聴の大切さを感じた。

テレビを簡単に悪者にするのではなく、子どもの成長に大変有効なものとなる見方が少しでも子どもたちの身についていくようにしたい。そのためには、みんなで見る楽しさを味わう、番組が終わったらスイッチを消す、番組で得た感動を生活やあそびに活かすなど、園で実践し家庭に伝えていくことが大切であると報告された。



講演

『保護者といっしょに考えよう。子育て生活 メディアとリズム』

～講師紹介～



鈴木 みゆき 氏

東京生まれ。
お茶の水女子大学大学院家政学研究科児童学専攻修了。医学博士。和洋女子大学
人文学群心理・社会学類 人間発達学専攻こども発達支援コース教授、日本音楽
著作権協会正会員 家庭では3児の母趣味は遊び歌を創ること（作詞）。NHK
「みんなのうた」「おかあさんといっしょ」「すくすく赤ちゃん」等に詞や振り
付けを提供（「チュンチュンワールド」「ペンギンパラダイス」他）。主な著書
として、「早起き・早寝・朝ごはん」（芽ばえ社）、「早起き脳は子育て脳」
（けやき書房）、「保護者もいっしょ-生活リズム改善ガイド」（ひかりのくに）、
「0～1歳の保育資料12ヶ月」、「1～2歳の保育資料12ヶ月」、「2～3
歳の保育資料12ヶ月」（以上、ひかりのくに）など。また、ビデオ「アンパン
マンとはじめよう」シリーズ（TMSエンターテインメント）の監修・指導なども手
がけている。

夜10時以降に寝る遅寝の乳児が増えていることが危惧される。

人間は本来、昼間行動し、夜寝るという昼行性の動物である。体内時計を持ち、寝ている間、決まった時間に脳から成長ホルモンが出ている。遅寝は子どもの成長を阻害する。

乳幼児の成長に生活リズムの区切りとしてテレビを活用することはよい。早寝、早起きし、朝ごはんを食べてエネルギーを十分補充して一日の生活を始めることが必要である。

遺伝子が人間に似るチンパンジーの雌は、生涯子どもを生き続け、子育てをするが、人間は違う。発育の著しい子どもは、母親だけでは手に負えない。おばあさんとして子育てを補助する役割がある。母親はもっと人の手を借りてください。

そして、就学前の姿を想定し、今の月齢に必要な子育てをしなければならない。

最後に、「夜、子どもを見かけない街づくりをしてください。皆さんは、睡眠民生委員になってください。」とユニークに述べられた。



NHKすくすく子育てスクール

第1部 「子育てミニトーク・Q & A」

講師：鈴木みゆき（和洋女子大学 教授）
司会：天野ひかり

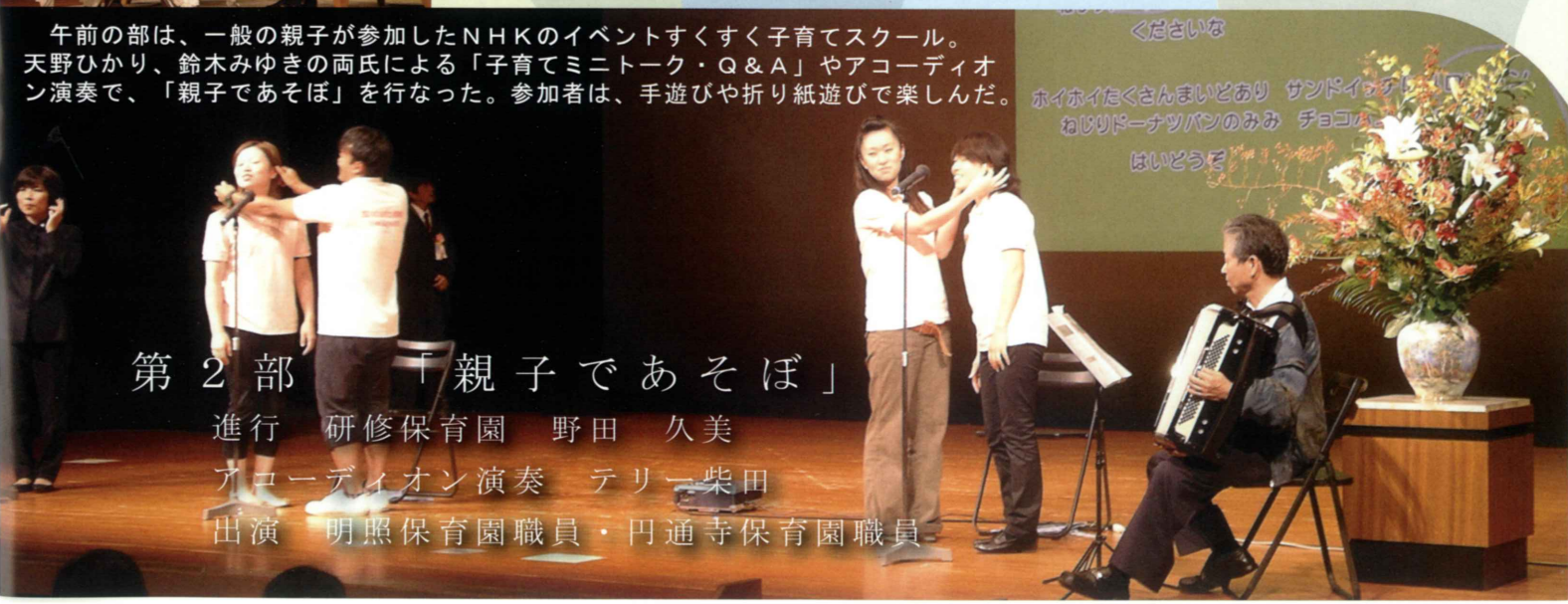
午前の部は、一般の親子が参加したNHKのイベントすくすく子育てスクール。天野ひかり、鈴木みゆきの両氏による「子育てミニトーク・Q & A」やアコーディオン演奏で、「親子であそぼ」を行なった。参加者は、手遊びや折り紙遊びで楽しんだ。

第2部 「親子であそぼ」

進行 研修保育園 野田 久美

アコーディオン演奏 テリー柴田

出演 明照保育園職員・円通寺保育園職員



ご案内

平成21年10月27日(火)・28日(水)に愛知県東部の三河地域で全国放送教育研究会連盟・視聴覚教育総合全国大会連絡協議会合同主催の全国大会を開催します。

平成21年度

第13回視聴覚教育総合全国大会 合同大会(愛知大会) 第60回放送教育研究会全国大会

<http://zenkoku.transist.ne.jp/main>

【大会へのおさそい】

近年、驚くようなはやさで映像関連機器や情報通信技術が発達しています。教育の場においても、薄型・大型のデジタル映像機器、地上デジタル放送、小型・高照度のプロジェクター、電子黒板等が日常のものとなりました。また、ブロードバンド化されたインターネットや校内にあまねく張り巡らされたネットワークの活用も当たり前の時代がやってきました。社会においても、20年前に提唱されたユビキタス・コンピューティングは現実のものとなりつつあります。

このように、わたしたちは高度に情報化され、有機的に関連し合うネットワーク社会に生きています。それらを効果的に活用すれば、「いつでも、どこでも、だれでも」必要な情報を学習に役立てることができます。放送をはじめとした多様なメディアや視聴覚機器、ICTを活用し、さらに体験的な活動と組み合わせることで、情報読解能力や情報モラル対応力、コミュニケーション力をはじめとする豊かな人間関係構築力を育みたいと考えています。めまぐるしく変化し進展していく社会に対応し、人と人とが関わり合う社会の一員として、誰もがたくましく生きる力をそなえ、豊かな社会をつくっていくことを願っています。

以上の考えに立ち、視聴覚教育総合全国大会と放送教育研究会全国大会との3回目の合同開催となる本大会は、授業公開等の実践が中心になっており、メディアを活用した豊かな教育活動を改めて学び合うものとなります。多くの方々のご参会をお待ちしております。

平成20年10月 合同大会(愛知大会) 実行委員長 江村 力

I 大会主題 『ネットワーク社会における豊かな学びとメディア』

II 主 催

全国放送教育研究会連盟/NHK

視聴覚教育総合全国大会連絡協議会

日本学校視聴覚教育連盟 全国視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会
(財)日本視聴覚教育協会/(財)パナソニック教育財団

III 開催日程 平成21年10月27日(火)・28日(水)

幼稚園・保育園

● 27日 円通寺保育園(愛知県豊橋市) 保育公開

〒441-8157 豊橋市上野町字上原101

電話0532-45-5256 FAX0532-47-4267

<http://www.tim.hi-ho.ne.jp/en2g>



10:30

11:00

11:40

13:30

16:00

受付

保育公開

移動昼食

保育研究

編集後記

今、幼児期に培いたい人とかかわる力や聴く力、その力を養うために、子どもたちにとって視聴覚教材の使用法を工夫して実践していきたいと考えています。

連絡先

NHK 名古屋放送局事業部内
愛知県幼児視聴覚教育研究会 事務局
〒461-8725 名古屋市東区東桜1-13-3
TEL.052-952-7070 FAX.052-952-7036